学校番号	T1206

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共 新訂版 共につくる未来」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業内容は、青年期、政治、経済、国際社会のことについて扱います。これらのことで今の世の中でどのような問題（課題）があるかを自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行い、今を生きる私たちに何ができるかなどを考え、自分の考えをまとめて発表したり、議論したりします。
・最新の情報を得るためにChromebookを使用して調べ学習をすることを予定しています。
・授業では教科書と学習プリントを使います。教科書は必ず持ってきてください。
・日々のニュースに関心を持ち、世の中の動きを見るようにしましょう。

2　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及・解決したりする活動を通じ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育むことができる。
（１）中学で学習してきたことの知識等を再確認しながら、高校で学習する内容を身につける。
（２）日本はもとより、世界の情勢や動向を「なぜ」そのようになったかを、歴史的背景等を含めて考え、自身で判断することができる。
（３）常に日本や世界の情勢や動向に関する情報を、様々なメディア等を通じて自身の力で入手でき、それを学習に取り入れることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断のてがかりとなる概念や論理や倫理、政治、経済などにかかわる現代の諸課題について理解するとともに、さまざまな資料や情報を適切かつ効果的に調べる技能を身につける。	現代の諸課題について、事実をもとに概念を活用し、さまざまな視点で考えるようにし、問題解決に向けて正しく判断できる力や、みんなで話し合いをして合意をとり、社会に参加することを想定しながら議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を自ら解決しようとする態度を養うとともに、さまざまな視点でものごとを考える力を養い、人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共の扉	・社会を作る私たち ・人間としてよく生きる ・他者とともに生きる	a: 自らの体験などを通じ、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b: 地域社会などの集団の一員として生き、他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることについてさまざまな視点で考え、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点や考えを通し、社会に参加する自立した主体についての自覚を深めている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
		・民主社会の倫理 ・民主国家における基本原理	a: 各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通じ、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図り、公共的な空間を作る上で必要であることを理解している。 b: 社会における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいてさまざまな視点で考え、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点で自身の考えや深い理解を通し、社会における基本的な原理について理解している。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

	よりよい社会の形成に参加する私たち	・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	a: 法の意義、役割などに関わる現実社会の課題を基に、憲法の下、適正手続きにより各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して権利や自由が保障され、社会の秩序が形成されていくことを理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意をつくりあげ、社会参加を視野に入れ、その主題の解決に向け事実を基に協働して考えたことを表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点で自身の考えや深い理解を通し、法などの意義や役割、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
後期	よりよい社会の形成に参加する私たち	・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活	a: 労働問題、財政及び租税の役割、社会保障の充実、金融の働きなど、現実社会の課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の配分、市場経済システムを機能させ、国民福祉の向上に寄与する役割を政府などが担っていることを理解している。 b: 主体的に解決が求められる主題を設定し、合意をつくりあげ、社会参加を視野に入れ、その主題の解決に向け事実を基に協働して考えたことを表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点で自身の考えや深い理解を通し、労働問題、財政及び租税の役割、社会保障の充実、金融の働きなどに関わる現実社会の課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

		・国際政治の動向と課題 ・国際経済の動向と課題	a: 国家主権や我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割など、現実社会の課題を基に、対等で尊重される主権国家の行動を規律し、国際法の意義と役割、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b: 主体的に解決が求められる主題を設定し、合意づくりや社会参加を視野に入れ、その主題の解決に向け事実を基に協働して考えたことを表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点で自身の考えや深い理解を通し、国家主権、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割など、現実社会の課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な社会をめざして	a:「公共の扉」身に付けた選択・判断のてがかりとなる考え方や公共の空間における基本的原理などを活用するとともに、「公共の扉」及び「よりよい社会の形成に参加する私たち」で習得した知識及び技能を活用している。 b: 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参加し、共に生きる社会を築くという観点から課題をみつけ、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考え、妥当性や効果、実現可能性などを指標にし、論拠を基に自分の考えを論述している。 c: よりよい社会の実現を視野に、さまざまな視点で考え、深い理解を通し、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度